

横浜市立 あざみ野第二小学校 令和 7 - 9 年度版 中期学校経営方針 (令和 8 年度修正)

学校教育目標	「えがお ふれあい たかめあい きらり かがやく あざ二つ子」 【知】学び続ける子ども…夢やめあてをもって、主体的に考え学び続ける子を育てます。 【徳】認め合える子ども…自分を大切に、自分の思いを伝えたり、相手の思いを心から受け止めたりして、認め合える子を育てます。 【体】たくましく生きる子ども…自分や相手の命や健康を大切に、心身ともにたくましく生きる子を育てます。 【公】協働する子ども…自分のまちを愛し、他者と協働して社会を高めようとする子を育てます。 【開】チャレンジする子ども…グローバルな視野を持ち、新たな価値に向かってチャレンジする子を育てます。			
	創立 45 周年	学校長 大幸 麻理	副校長 引田 雄士	2 学期制 一般学級：18 個別支援学級：4
学校概要	児童生徒数： 572 人 主な関係校： あざみ野中学校・あざみ野第一小学校・黒須田小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	あざみ野中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
言語能力 自分づくりに関する力	あざみ野中 あざみ野第一小 あざみ野第二小 黒須田小 (すすき野中・嶮 山小・荇子田小)	・自分らしく、共に生き、社会に貢献する子 ・自分らしく、共に生き、未来を切り拓く子  小中学校間で学習指導や児童生徒指導の円滑な接続を重視するとともに、児童・生徒間の交流や教職員の交流を積極的に図ることによって、子どもたちに必要な資質・能力を育て、「9年間で育てる子ども像」の具現化を目指す。具体的には、小中授業研究会、小学生の中学校授業参観・部活動見学・生徒会オリエンテーション等を行う。

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人ひとりが安心して、自分らしさを発揮できる子どもを育てます。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年目は、徹底した児童理解を通じた授業づくりや学級風土づくりを推進します。</li> <li>・2年目は、児童理解をさらに深く、児童が自分らしさを発揮できる授業づくりをします。</li> <li>・3年目は、児童が、自分のしたいことやすべきことを見出し、意思決定しながら学習に向かえるようにします。</li> </ul> </li> <li>○グローバルな視野をもちながら、あざみ野の街を愛し、他者と協働しながらチャレンジする子どもを育てます。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間を通して、豊かな体験から他者を思いやりグローバルな視点を持てるようにします。</li> </ul> </li> <li>○日々の観察やデータを活用しながら児童を見取り、主体的に考え学び続ける子どもを育てます。</li> </ul>
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 学習指導	①児童理解を徹底し、一人ひとりに応じた手立てや支援をすることを通して、魅力ある授業作りに取り組む。ICTを効果的に活用し、自分に合った学び方を選択できるようにし、自ら学ぶ姿勢を育てる。チーム担任制を生かして、副担任による担任の授業支援等を行い学習指導の充実に努める。 ②重点研究テーマを「一人ひとりが安心して、願いを実現する子ども」とし、子どもが安心して自己表現できる学習環境を作ることで、豊かな関わり合いの中で自己実現するための資質・能力を育成する。
担当 授業研究部	
徳 人権教育	①横浜プログラムを活用し、児童一人ひとりのアセスメントを丁寧に行うと共に、指導プログラムを有効に活用して、「だれもが」「安心して」「豊かに」学校生活を送れるように温かな学校・学級風土をつくる。 ②なかよし交流(1～6年の縦割り交流)活動を通して、相手を大切に思う心を育てる。 ③道徳科の授業において、ICTを活用したアンケートを事前実施して自分自身を見つめたり、自分の思いを書く、話す活動を通して、自分や他者の思いに気付いたり、違いやそれぞれの良さ気付いたりできるようにする。
担当 道徳部・人権委員会	
体 健康教育	①家庭科・学活・保健の授業などの時間を利用して、栄養士と連携しながら食育に関する授業を実施し、食育の推進を図り、食に関わる資質・能力を育成する。 ②年間を通して、全校で長縄跳びに取り組み、体力の向上を図ると共に、跳べた回数や記録の伸び率をもとに子どもたちの意欲を高め、運動に親しむ態度を育む。【長縄跳び集会年3回】 ③朝遊びタイムを実施し、外遊びをする機会を増やしたり、自主的に鉄棒遊びを行えるように環境を整備したりすることで、運動に親しむ態度を育む。 ④学校保健委員会や保健委員会の活動等を通して、健康で丈夫な体づくりや、安全に気を付けて生活しようとする態度を育む。
担当 体育部	
公 自分づくり教育 (キャリア教育)	①生活科・総合的な学習の時間を中心に、体験的な学びを行いながら他者と関わるよさを実感し、自ら課題を見つけて解決していく力を育む。 ②学年に応じて、地域や企業が関わる学習活動を学年プランに位置付け、学ぶことや働くことの意味について考えられるようにする。 ③自分づくりパスポートやマイプランの活用によって、自身の変容や成長を振り返ったり、学習の予定や自分の役割等に見通しをもって取り組んだりするなど、主体的に学びに向かう力を高める。
担当 授業研究部・総合	
いじめへの対応	①定期的及び随時的いじめ防止対策委員会を実施し、個々のいじめやいじめの疑いの事案について、現状と対応の進捗状況を確認し、今後の対応策等を丁寧に考え、いじめ防止に努める。 ②いじめ防止研修を実施して、全教職員のいじめを認知する意識を高くするとともに、ICTを活用した児童アンケートによる些細な変化を見逃さない体制づくりを行って、いじめの未然防止に努める。 ③ケース会議を実施し、関わる学年全員で情報を共有できるようにする。また、情報を整理し、いつ・だれが・どのような関わりを行うのかを明確にし、複数の対応できるようにする。 ④代表委員会を中心にいじめ防止について全クラスで考え、話し合うことを通して、主体的にいじめ防止に取り組めるようにする。
担当 児童指導・人権委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)	①年度初めの学級開き研修で、経験の浅い職員の学級経営力を養う。月1回のキャリアアップ研修では、ミドルリーダーのサポートを受けながらメンターチームが主体的に研鑽を行う。また、チーム担任制を活用した学年経営で、経験の浅い職員の育成に努める。 ②週1回の主幹会、月1回の教務会を中心に、学校全体を見通して学校運営ができる人材育成を行う。週1回の学年研で学年主任を中心に、意図的・計画的に経験年数が少ない職員に指導・支援をする。 ③月に数回のNO会議の設置や、企画会の廃止や打ち合わせの回数縮小等の会議の精選を行い、職員の裁量ある時間を生み出し、持続可能な学校づくりを目指す。
担当 教務部・キャリアアップ研	
地域学校 協働活動	①地域学校協議本部を活用し、校内での学習活動のサポートや地域での豊かな体験活動を行う。また、地域とのつながりの創出や子どもたちの願いを取り入れた学習活動(総合的な学習の時間など)を通して、地域とのつながりを大切に、自分たちの住む街を大切にできる児童の育成につながる。 ②あざみ野等の地域のイベントを活用して、学習内容の発表や地域で活動する機会を創出していく。 ③学校運営協議会で、学校経営方針や教育活動についての情報交換をすると共に、学校の課題についても率直に意見をもらい、より良い学校運営に繋げる。
担当 学校長(教務部)	
児童指導	①気になる子、トラブルなど、どんな小さな事案でも、児童指導の情報を全教職員でスムーズに共有する体制を維持し、全校でチームとしての指導をさらに強化し、だれもが安心して通える学校づくりをめざす。【低中高ブロック研毎週実施→専任・管理職との共有、毎月職員会議で情報共有、随時全教職員による校内ルール確認】 ②学校生活向上委員会の児童が中心となって、挨拶運動を継続実施し、人と豊かに関わる子の育成をめざす。【学校生活向上委員による挨拶運動を実施】 ③3-6年でのチーム担任制や全学年での教科分担任制を行う。児童を学年全体で見守ることでより多面的に児童をとらえ、組織的・協働的に指導・支援をしていき、子どもたちが安心して安全に学校生活を送ることができるようにする。
担当 児童指導・人権委員会	
特別支援教育	①個別の教育支援計画・指導計画を活用し、6年間を見通した支援を行う。一人ひとりの特性に応じて、別室や教室内での支援を意図的・計画的に実施する。 ②コンサルテーションや特別支援教育研修会、児童理解研修会を年間計画に位置付けて、各関係機関と連携しながらさらなる児童理解と支援に取り組む。 ③個別支援学級、TMIによる国際教室や取り出し授業等、個に寄り添った丁寧な指導と共に、一般級の中で支援が必要な児童に対し、チーム担任制を生かして、複数の目で児童を見守り、子どもが安心して学校生活を送れるようにする。
担当 児童指導・人権委員会	
情報教育	①児童が学習でICT機器を活用する場面を学年プランに位置づけ実施する中で、個々のニーズや個別最適な学びにつながる取組を実現させていく。 ②どのクラスでも効果的にICT機器が活用されるように情報共有の場や職員研修の機会を年間計画に位置づけ、職員全体のICT機器活用指導力を高める。【ICT研修を年度初めと夏休業期間中の年2回実施、月1回情報評価委員会実施】 ③1～3年、4～6年でそれぞれ企業に依頼し、情報モラルの学習を行う。情報モラル教育について、道徳科、特別活動、児童指導等と連携させながら学びを充実させ、情報社会で適正な活動ができる子の育成を目指す。【ICTスタンダードの周知・徹底】
担当 情報教育部・情報評価委員会	

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

「えがお ふれあい たかめあい きらり かがやく あざみっ子」
【知】学び続ける子ども…夢やめあてをもって、主体的に考え学び続ける子を育てます。
【徳】認め合える子…自分を大切にし、自分の思いを伝えたり、相手の思いを心から受け止めたりして、認め合える子を育てます。
【体】たくましく生きる子…自分や相手の命や健康を大切に、心身ともにたくましく生きる子を育てます。
【公】協働する子…自分のまちを愛し、他者と協働して社会を高めようとする子を育てます。
【関】チャレンジする子…グローバルな視野を持ち、新たな価値に向かってチャレンジする子を育てます。

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力

言語能力 自分づくりに関する力

具体化した資質・能力

【言語能力】
①感じたことを言葉にする力 ②事実を大まかに捉える力 ③相手の思いを受け止めてから聞く力 ④身近な語彙の豊かさ ⑤言語の面白さへの気づき
⑥互いの考えへの気づき ⑦伝える内容を明確にする力 ⑧感情語彙の豊かさ ⑨伝え合うことで自分の考えを深化させる力 ⑩事実等を正確に理解する力 ⑪事実等を解釈し自分の考えを形成する力 ⑫言語の豊かさへの気づき
【自分づくり】
①好奇心 ②基本的な生活習慣をつくる態度 ③主体性・積極性 ④社会生活の中での協調性 ⑤地域を愛する気持ち ⑥他者を理解する態度・自己を理解する姿勢 ⑦自分らしさを発揮しようとする姿勢 ⑧意思決定する力

中期取組目標

○一人ひとりが安心して、自分らしさを発揮できる子どもを育てます。
・1年目は、徹底した児童理解を通じた授業づくりや学級風土づくりを推進します。
・2年目は、児童理解をさらに深め、児童が自分らしさを発揮できる授業づくりをします。
・3年目は、児童が、自分のしたいことやすべきことを見出し、意思決定しながら学習に向かえるようにします。
○グローバルな視野をもちながら、あざみ野の街を愛し、他者と協働しながらチャレンジする子どもを育てます。
・3年間を通して、豊かな体験から他者を思いやりグローバルな視点を持てるようにします。
○日々の観察やデータを活用しながら児童を見取り、主体的に考え学び続ける子どもを育てます。

学力向上アクションプラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (学習指導) and 具体的取組. Content includes learning guidance and specific measures for student learning.

学力向上に関わる本校の状況. Includes text about current school status and two circular charts showing data for 令和7年度 男子 and 令和7年度 女子.

今年度の目標 and 目標を実現するための具体的行動プラン. Includes goals for student well-being and a detailed action plan for the first and second halves of the year.

豊かな心の育成推進プラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (人権教育) and 具体的取組. Content includes human rights education and specific activities.

豊かな心に関わる本校の状況. Includes text about current school status regarding mental well-being and a table with 2 columns: 重点取組分野 (健康教育) and 具体的取組.

今年度の目標 and 目標を実現するための具体的行動プラン. Includes goals for mental well-being and a detailed action plan for the first and second halves of the year.

健やかな体の育成プラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (健康教育) and 具体的取組. Content includes health education and specific measures for physical well-being.

健やかな体に関わる本校の状況. Includes text about current school status regarding physical well-being and two circular charts showing data for 令和7年度 男子 and 令和7年度 女子.

今年度の目標 and 目標を実現するための具体的行動プラン. Includes goals for physical well-being and a detailed action plan for the first and second halves of the year.